

教会創立103周年

週報

2025年11月9日 5367週

【 今年度のテーマ・聖句 】

「共に喜ぶ」

一ハレルヤ わたしの魂よ主を讃美せよ—

わたしたちの一つの体は多くの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。 (ローマの信徒への手紙 12章 4~5節)

子ども祝福式にあたつて

卷頭言

牧師 加藤英治

イエス・キリストは、社会で見下され、排斥されようとした子どもたちを招き、受け入れ、祝福されました。「子どもたちをわたしのところに来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。」(マルコ10:14)「イエス・キリストはまさにこのような者たちを捜し出し、限りなくあわれみ深い神を彼らに宣べ伝える。——神はむしろ罪人を招き受け入れることによつて、全く新しい創造的な救いの義を示される。大人は極めて打算的で、計り数えることができるものに頼つて生きるが、子どもは計り知れず予想さえできないもの、神からくる新しいもの、すなわち恵みと愛によって生きるために、新しい神の国を全面的に、純粹に、そして開かれた心をもつて受け入れる。ゆえに神の国はまさに「子どものものとなるのである。」(李信健『「子どもの神学 神を「子ども」として考える(YOBEL, Inc' 2023年)』より)

そして驚くべきことに、イエス・キリストの神様は、ただ子どもを受け入れ、愛されるだけでなく、神ご自身もまた「子どものような」方なのだというのです。「神は小さい子どものように小さい」とでも喜び、歌い、遊び、踊り、冒険を好む存在ではないだろうか。実際に神は法則や秩序、権威や体面よりも偶然や冒険、歌や踊り、祝祭や遊びに自らを喜んで任せる存在、すなわち「子どものような存在ではないだろうか。神はこの世界を新しく、より楽しくするため、今もあれこれと考えめぐらす存在であり、幻想と好奇心に溢れる「子どものような方ではないだろうか。」(同上)

「子どものよう」でもある神だからこそ、子どもを愛し、受け入れ、子どもに対し深い憐れみをもつて共感し、共に生きてくださるのでないでしょうか。どうか、今日集われた子どもたちがこの神様と共に、これから日々も、祝福豊かに歩まれますように。

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel:093-561-0772 Fax : 093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

子ども祝

司会 庄司まり子執事
奏楽 小田ひかり姉

前招詞	ローマ 10：2～4
頌栄	670(主のみ名をほめまつれ) (新生讃美歌の扉を参照)
主の祈り	7(栄光の王・神の住まい)
交讃美	455(われに来よと主はいま)
聖書	アモス 5：4～15、24 (新共同訳 1434 p 口語訳 1271 p)
祈祷	
子ども祝福式	加藤英治牧師
子どもメッセージ	加藤英治牧師
讃美	571(十字架を負いつつ) 聖歌隊
宣教	「わたしを求め、善を求め、 そして生きよ」 加藤英治牧師
祈禱	
讃美	466(救い主はそばに立ち)
資金	祈り: 中村響子姉 (女性会C班)
頌祝	673(救い主 み子と) 加藤英治牧師
後報	

◎今月の聖句

「刈り入れる人は報酬を受け、永遠の命い至る実を集めている。こうして、種を蒔く人も刈る人も、共に喜ぶのである。」

(ヨハネによる福音書
4章36節)

今月の当番役員

二木榮子 下川礼子

本日の集会

教会学校

幼小科
10：30～11：40
中高科、青年・成人科
9：30～10：15

主日礼拝の当番

受付: 船津丸泰 田中登美子
二木榮子(当番役員)

お花: 二木榮子

会堂清掃 11：50～12：05
各会例会 12：05～12：45

◎今週の集会(11月9日～15日)

<聖書> アモス 9：11～15

12日(水) 祈祷会 I 10：30

(奨励: 加藤英治牧師)

12日(水) 祈祷会 II 19：30

(奨励: 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

9日(日) アモス 5：4～15	藤田基司
10日(月) イザヤ 41：9～10	藤田義弥
11日(火) エゼキエル 3：17～18	二木榮子
12日(水) ローマ 5：8	船津丸泰
13日(木) エレミヤ 24：6～7	前田昭治郎
14日(金) ミカ 4：2～3	真角貞行
15日(土) エレミヤ 33：14～16	真角汪美